

GPC-4101

同期/調歩同期シリアル通信インタフェースモジュール用 Windows ドライバ



概要

GPC-4101 は、Windows 上から、弊社キャラクタ同期/調歩同期通信ボードの制御を行うためのソフトウェアです。弊社キャラクタ同期/調歩同期通信ボードを Windows 上のアプリケーションから DLL をダイナミックリンクし、API をコールすることにより制御します。インストールしてすぐ使える通信ユーティリティのほか、動作不具合時の原因を容易に判断するための自己診断機能、各言語によるサンプルプログラムが付属しています。

特長

- 階層化ドライバと各種統一、共通化により、DLL レベルでボード型式を意識する必要がありません。
- Windows 上でキャラクタ同期通信が行えます。
- キャラクタ同期は、Bi-Sync, Mono-Sync の両方が使用できます。
- 終端パターンを指定することで、終端パターン一致検出時、自動的にハントモードに入ることができます。
- 半二重通信で RS(C)信号をデータと同期させるとき、RS(C)信号を ON にしてからデータを出し始めるまでの時間(セットアップ時間)と、データを出し終えてから RS(C)信号を OFF にするまでの時間(ホールド時間)を 10ms 単位で設定することができます。
- 機能や使い方を説明するオンラインヘルプ(Help.htm)をサポートしていますので、開発中に関数の詳細説明など、簡単に参照することができます。

対応 OS

Windows Server 2012 R2

対応言語

-

注意事項

—